

もいのにぎわい通信

2022 年 10 月 1 日 定例活動報告

.....

日時：2022 年 10 月 1 日（土）9：00～12：00

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 25～29℃ 湿度 68% 風向 東北東 風速 3.6m/s

参加者：25 人：子供 4 人、大人 21 人（内土地改良区 0 人）

■活動

.....

9：00 集合

9：15 作業開始

クリ拾い、クズの蔓切、除草作業

10：30 休憩

除草作業、クズの蔓切、

12：00 片付・解散

■活動報告

台風で一週延期になった 9 月の活動が秋晴れの中行われました。

初めての参加の方が多かったこともあり、駅お迎え第一グループを待ってからの 9 時 15 分のスタートとなりました。

まず初めに栗拾いから・・・今年の栗の実りは今年の 1/3 ぐらい。イノシシなどの動物が下に落ちた栗の実を食べに来ていたのか中身がなくなっている栗の皮がたくさん散乱していました。栗の木林までの散策路はイノシシが土の中のミミズなどの生き物を食べるのか何か所も掘り返されてぼこぼこになっていました。

木の高い部分に残っている栗の実を長い竹さおを使って落とし、集めること 30 分。集められたのはバケツ 1 杯の 6 割ぐらい。次は受付付近に育つ山栗拾い。こちらは昨年とは変わらない実りの様子・・・ただ小粒なので集めるのが大変でした。

刈払機による除草作業ですが、土地改良区の皆さんは本日土地改良区の除草作業と重なり、欠席となりました。いつもは緑の環のスタッフ 3～4 人で行っていましたが、今回は欠席者や体調不良者が重なり、1 人による作業となりました。まず、車の通行に支障となりそうな進入路・駐車場の除草、前回のグリーンウェイブ植樹祭で植樹したヒノキエリア、池の周辺、最後にトラックが一周できるように池と堆肥場間の除草作業を行いました。

休憩をはさんでから夏の休みの間除草作業ができずに人の胸あたりまで伸びた草を刈ったり、樹木に巻き付いたクズの蔓を取り除く作業を行いました。活動日までの数日寒い日が続いていましたが当日はかなり暑くなり、参加していた小学生たちは顔を赤くしながらコオロギやトンボ、ナナフシなどを捕まえたり、長い木の棒を集めて秘密基地を作ったりして遊んでいました。作業が終わりに近づき、長い草むらで作業をしていた高校生たちが戻ってきてその姿をみてついつい笑いが……。腰から足にかけてまんべんなくヌスビトハギの実が模様のようにくっついていました。

ヌスビトハギは毎年秋の作業中に被害にあいますが、いつもはどこで育っているかわからず知らないうちについている感じでジーパンや靴についてとるのが大変で洗濯しても残るくらい粘着力があります。今年は特にたくさん繁殖している様子で 9 月の活動前に除草作業に入った際、赤紫の萩の花のような可愛い花をたくさん見かけ、なんていう花でしょうと質問した私に長年こまめに森に入っている方にそれはヌスビトハギだから花のうちに抜いたほうがいいと・・・納得して容赦なく刈りました。

ヌスビトハギの名前の由来は実の形が泥棒のつま先立ちでひっそり歩く足跡に似ていて花が萩の花ににているからだそうです。

草むらで作業をしていた人たちが戻ってくるたびに 1 人に対して 3 人ぐらいで囲んでヌスビトハギの実を服からとる作業に（笑）。とった実はできるだけ一か所で集めて来年増えていかないように処分しました。移動できない植物の種を遠くに運ぶための能力に感服です。

参加者への理事長の話の中で印象に残った話がありました。昨年たくさん実がなっていたものが次の年にあまり実がならないのには理由があり少なく実がなった年にその実を食べる動物の数を減らして実がたくさんなった年に実が残るようにして子孫を残すという説がありますと・・・植物たちにも子孫を残すための能力があることを忘れずに自然の恵みに感謝し森の手入れをしながらその年その年の森の変化を見守りたいと思いました。

（記録：和田 みさ子）

.....

お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、10 月 22 日（土）（雨天の場合 10 月 23 日（日））に開催します。

除草作業、クズの蔓切等、作業はコロナ禍の為、午前中のみとします。



集合写真



集合



クリ拾い開始



立派なクリだな！



竿で落とした毬栗からクリを収穫



木に登りクリを落とす。



休憩



収穫したクリ



収穫したクリ



キウイの蔓切作業



基地づくり構想



鎌を使って除草作業



基地づくり

